



「ものづくり」と「アウトドア」のまち

— 三条市 —

三条市はこんなところ

新潟県の真ん中に位置し、鍛冶の伝統技術が受け継がれるものづくりの街です。現在でも、打刃物や工具、木工など多くの商品を作る職人が存在し、アウトドア用品やキッチン用品など金属加工を中心とした様々なプロダクトが造られています。

観光面では、そのものづくり現場を一般に公開し、間近で職人の技を体感できる「オープンファクトリー」、また山沿い地域の「下田郷」では豊かな自然を生かしたキャンプや溪流釣り、ラフティングなどのアウトドアが楽しめます。



オープンファクトリー

複数の工場で一般の方へ現場を開放し、それぞれの工場で働く職人の技を間近で体感できます。おしゃれなショップやレストランを併設している工場もあり、観光でも人気のスポットとなっています。



アウトドア アクティビティ

市内にはスノーピークやキャプテンスタッグなど、有数のアウトドアメーカーが集積しています。そのアウトドアメーカーが造るギアを使ったキャンプなど、大自然で遊ぶことのできるフィールドも多数存在します。



キャンプの他、三条市中心部を流れる清流「五十嵐川」での溪流釣りやラフティングなどのアウトドアアクティビティを楽しむことができます。また、冬の五十嵐川は白鳥が飛来し、白鳥鑑賞も人気です。





八木ヶ鼻温泉 いい湯らてい

アウトドアフィールドからアクセスが良く、景勝「八木ヶ鼻」の麓にある日帰り温泉施設「いい湯らてい」。大浴場・露天風呂から八木ヶ鼻を一望できます。大規模な施設で、お風呂は露天、マグマ風呂、ナノミストサウナ、ロッキーサウナなどの他、複数のお風呂を楽しめます。地元食材を使った料理が味わえるレストランや休憩所、特産品がそろった売店などがあり、大人から子供まで楽しめる人気の温泉施設です。



国道289号 八十里越

R289号線は、新潟市を起点として福島県いわき市に至る総延長304kmの道路です。このうち三条市から福島県只見町に至る県境部分、通称「八十里越」の工事が約35年に渡って行われており、数年後に待望の開通を予定しています。「八十里越」の距離は実際には約八里ですが、その道の険しさ故に一里が十里にも感じると言われ、そのように呼ばれるようになりました。この道が開通すれば、福島・北関東方面への新たな玄関口となり、多分野にわたる活用が期待されています。三条市では、開通に向けた機運醸成のため、約10年前から工事現場の見学を行う「秘境八十里越体感バスツアー」実施しています。



三条市公式観光サイト

本誌で紹介した各種コンテンツが掲載されていますので、参考にご覧ください。三条市へのお越しをお待ちしています。

